

りんご生育情報(8月号)

令和4年8月22日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 果実肥大状況

8月10日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径110%、ヨコ径114%と大きくなっています。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	65.3	74.5
平年値	59.1	65.5
平年比	110%	114%
(参考)ツヨイト樹	68.7	83.1

※東和町錦織の測定値。ツヨイト樹は中田町川欠の測定値。

2. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が7月29日に発行した発生予報第5号では、斑点落葉病、ハダニ類、キンモンホソガの発生量が「やや多い」とされています。気温が高くなり、管内でもハダニ類（リンゴハダニ、ナミハダニ）の発生が確認されています。観察を強化し、多発する前に防除を行うようにしましょう。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第5号（令和4年7月29日発行）

病害虫名	発生量
斑点落葉病	やや多
ハダニ類	やや多
キンモンホソガ	やや多

宮城県病害虫防除所が注意報第1号を発表

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）について

対象地域：県内全域 予想発生量：多

県南部を中心に果樹カメムシ類による被害果が多く確認されています。登米管内においても、フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数が平年より多い状況です。

今後、越冬世代成虫に加えて新成虫が発生し、密度が高まる時期となります。ほ場をこまめに見回り、成虫や被害果が確認された場合は、果樹カメムシ類の活動が鈍い早朝に薬剤散布を行うと効果的です。



クサギカメムシ

チャバネアオカメムシ

写真：宮城県病害虫防除所より引用

3. 今後の管理について～「つがる」等早生品種の着色管理～

「つがる」など9月に収穫する品種の葉摘みの開始時期は、一般に収穫予定の10～15日前です。葉摘みは収穫までに2回に分けて実施し、1回目は果実に直接ついた葉を中心に軽く2～3枚程度除去し、2回目は玉回しと併せて果そう葉の30～40%を上限として除去します。

早生品種の着色管理は残暑の時期に当たります。最低気温が20℃を超えるような日が続く場合は、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進みません。翌年の花芽の充実に影響を及ぼすこともあるので、過度な葉摘みはしないように注意してください。

参考：「果実日本8月号 2020vol.75」（日本園芸農業協同組合連合会）

4. 情報提供～有望なりんご赤色系品種の果実特性～

令和4年7月に宮城県農業・園芸総合研究所から発行された「普及に移す技術」第97号において、「有望なりんご赤色系品種「錦秋」,「あおり27」,「秋田紅あかり」の果実特性」の普及情報が発行されたので情報提供します。

詳しいデータ等は、下記HPに掲載されています。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/bunyabetu06.html

(1)「錦秋」

交配組み合わせ：「千秋」×「4-4249（「つがる」×「いわかみ」）

育成者：農研機構果樹茶業研究部門

S遺伝子型：S³S⁷

※「ふじ」とは和合,「シナノスイート」とは半和合,「つがる」とは不和合

- ・収穫始めが9月中旬の**早生品種**であり,「つがる」より2週間程度遅い。
- ・着色が特に優れるうえ,糖度が高く,肉質良好でさびの発生が少ない。果実全面が均一に着色するため,収穫に当たっては,内部品質や食味を確認のうえ開始する。

(2)「あおり27 (商標名：千雪)」



交配組み合わせ：「金星」×「マヘ7」

育成者：地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所

S遺伝子型：S⁷S⁹

※「ふじ」,「つがる」,「シナノスイート」とは半和合

- ・収穫始めが10月中旬の**中生品種**であり,「シナノスイート」と同時期～5日程度遅い。
- ・着色が特に優れ,糖度もやや高い。また,切ってもすりおろしても変色しにくい。
- ・収穫期が不揃いになりやすいため,一斉収穫せず複数回に分けて収穫する。

(3)「秋田紅あかり」



交雑親：「王林」,「千秋」

育成者：秋田県果樹試験場

S遺伝子型：S¹S²

※「つがる」とは和合,「ふじ」,「シナノスイート」とは半和合

- ・収穫始めが11月上旬の**晩生品種**であり,「ふじ」より2～3週間早い。
- ・糖度は「ふじ」と同程度であるが酸味が少ない。玉揃いや着色が優れるが,樹冠内部では着色が劣る傾向が見られるため着色位置に留意し,枝吊りや支柱の利用による着色管理に努める。また,年により少程度のみつが入る。
- ・苗木は秋田県果樹協会から農協等の団体単位でのみ購入が可能である。

写真：宮城県農業・園芸総合研究所提供

